

いちのみやの芸術文化



土人形・土鈴アラカルト
一宮市尾西歴史民俗資料館蔵

- [特集] ^{おこし}起土人形・^{どれい}起土鈴 ~その造形と色彩~
- [エッセイ] 俳句始めませんか!?
俳句部門 びさい南俳句会 日比 孝子
- 役員紹介・加入団体一覧
- 文化情報

2026.6

第70号

一宮市芸術文化協会

「一宮市」には、一宮市博物館・宮市三岸節子記念美術館・二宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

起土人形・起土鈴 〈その造形と色彩〉

1. 今年の年賀切手に採用された起土人形
令和八年(二〇二六)用年賀切手の内、八十五円切手に起土人形の「俵馬」が採用されました。起土人形が年賀切手になったのはこれが初めてです(写真1)。

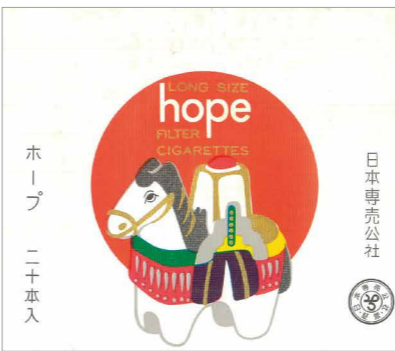


▲写真1
2026 令和8年 年賀切手
発行:日本郵便 2025年10月30日
所蔵:一宮市尾西歴史民俗資料館

絵柄は、大阪府立図書館が所蔵する川崎巨泉(一八七七〜一九四二)が描いた「玩具帖」の中にあります(写真2)。「尾張一の宮 真清田神社 古型俵馬 中島作 昭和十七、二、入手 高三寸」の墨書から、戦時中に入手したことがわかります。



▲写真2 川崎巨泉画「古型俵馬」
写真提供・所蔵:大阪府立中之島図書館



▲写真3
記念たばこ「ホープ」のパッケージ
発行:日本専売公社 1965年12月1日
所蔵:一宮市尾西歴史民俗資料館

また昭和四十年(一九六五)には、記念たばこ「ホープ」のパッケージに、「一宮のおん馬」(桃花祭の飾り馬)(写真3)が採用されています。「俵馬」も「おん馬」も真清田神社の昔の授与品です。そのほか、岐阜市の美江寺(みえじ)観音の蚕鈴(起土鈴)は愛好家の山本鉦太郎(かねたろう)の土鈴番付表で、「東の横綱」に位置づけられるなど、全国に知られた存在です。

2. 沢井忠夫の箏曲「つち人形」と兄沢井三山

一宮市出身の著名な箏曲家の沢井忠夫の作品に起土人形をモチーフにした「つち人形」があります。収録されているCDの解説書には、「兄(R八家の沢井三山)が部屋いっぱい集めた人形を見せられた」と書いています。

3. 江戸時代から続く起土人形・起土鈴

江戸時代後期の天保年間(一八三〇〜一八四四)に、富田村(現在の一宮市富田)の中島佐右衛門と同郷の日比野忠四郎が、名古屋御器所七本松の土人形師のもとで土人形の制作技

町)、大口(大口町)、久保一色(小牧市)、犬山(犬山市)でも制作されていました。
(一宮市尾西歴史民俗資料館 学芸員 神田年造)

学芸員 神田年造

術を習得し、富田で作りはじめたといわれています。忠四郎は一代限りで二十一年ほどで廃業しました。中島家は佐右衛門を初代とし、五代受け継がれ、現在は五代目一夫さんの妻で、今年百歳を迎える一子さんが制作を続けています(写真4)。三代目の故佐十郎さん、五代目の故一夫さん、一子さんの三人は、市の無形文化財に指定されています。



▲写真4 中島一子さん

4. 起土人形・起土鈴の様々な造形

起土人形には、内裏雛、天神、歌舞伎外題もの、縁起もの、社寺関係の人形、風俗人形、動物もの、十二支、首人形、土面、供養人形などがあります(写真5)。土人形ばかりでなく、中に球を入れて振ると音がする土鈴もあり、制作している作品の種類が多いのが特徴です。起土鈴には、社寺関係の土鈴、美江寺の土鈴、干支土鈴、土人形土鈴などがあります(写真6)。



▲写真5 虎乗加藤・太閤
所蔵:一宮市尾西歴史民俗資料館

5. 起土人形・起土鈴の鮮やかな色彩

古い作品には、仕上げにニスが塗られており、時とともにあめ色に変化して味わいが出てきます。昔は塗料の岩絵具に毒が含まれていたため、子供のお祝い用には表面にニスを塗っていたそうです。近年の作品にはニス塗はなく、キラ(雲母)、赤・群青・黄や金・銀などの鮮やかな色彩は、起土人形と起土鈴の特徴です。

6. 尾張の土人形

尾張では、起のほか、乙川(半田市)で土人形が制作されています。かつては名古屋(名古屋市)、浅井(一宮市)、島宮(江南市)、扶桑(扶桑



▲写真6 岐阜市美江寺観音の蚕鈴
所蔵:一宮市尾西歴史民俗資料館

■参考文献(一宮市尾西歴史民俗資料館発行図録)「土鈴―そのいろどりとかたち―」、「起土人形」、「起土人形・土鈴」、「尾張の土人形」尾西・尾北

お知らせ

一宮市尾西歴史民俗資料館秋季企画展
「起土人形 〈その造形と色彩〉」
二〇二六年十一月七日(出)〜十二月二十日(日)
休館日:月曜日(十一月二十三日は開館)、十一月二十四日(火)

俳句始めませんか!?

びっさい南俳句会 日比 孝子

1. 俳句は難しい?

某民放テレビ局の、タレントが詠んだ俳句を辛口毒舌の俳人が批評添削する番組が高視聴率である。毎週視ているという人に「俳句を始めませんか」と言つと、難しいと尻込みされる。

和歌や芭蕉・子規の俳句の一つや二つはすぐ語んじられる。

また、カラオケでよく歌われる昭和歌謡の「トワカクアカリイ／ウタゴエニ」やスマップの「セカイニヒトツ／ダケノハナ」のように、五七五は日本人のDNAに深く刷り込まれている。つまり、俳句のリズムは皆さん生まれながらに持っているのである。

3. 俳句が出来たら?

まず、お近くの句会を見学してみよう。この「いちのみやの芸術文化」誌にも句会の案内があるので、ぜひ連絡して欲しい。

一般的な句会のスタイルは、①用意した自分の句を短冊に書いて無記名で提出する。②この短冊は混ぜられて清記され、一覧表にして配られる。③自分が良いと思う句を選び(選句)、選句用紙に書いて提出する。④参加者の票を集めた句が発表される(披露)。⑤選者の批評・添削となる。

4. 俳句作りの実例と効用

筆者は、老人施設の俳句教室へボランティアに行っている。その中の七十代後半の方の処女作が、あかぎれの穴にうめこもこやの跡・ふるあがりのかかこのつより母思つ

であった。これを

あかぎれの穴にうめこもこやの跡にふるあがり母思つ

と添削したら、次回の第二作は

春寒し大事な一票投じけり

と添削不要であった。

俳句を始めた方々が、「施設の送迎バスの車窓の風景、散歩の木一草、毎日の暮らしも、新鮮に見えるようになり、新しい季語を知るたびに、新しい感動がある」と異口同音に言われる。これこそが俳句の効用であり、脳活である。

「適切な刺激を与えれば認知機能は回復する」と言われている。五七五で認知症予防を!



老人施設での句会



俳句の批評と添削

令和8年度 一宮市芸術文化協会役員

役職名	氏名	備考(部門/団体名)
名誉会長	中野正康	一宮市長
会長	小島祥子	声楽・合唱部門 / 一宮音楽家協会
副会長	不破皓	吹奏楽・管弦楽部門 / 尾西ウィンドオーケストラ
	大島麻琴	洋画部門 / 一宮美術作家協会 / 洋画部
会計	不破務	吹奏楽・管弦楽部門 / 一宮市民吹奏楽団
	川合順夫	舞踊部門 / 新舞踊あすか会
監事	川合順夫	短歌部門 / 真清短歌会
	武鹿千代	写真部門 / 一宮写真協会

※左表は各部門選出の理事一覧表です。

(敬称略)

文学部					部
短歌部門	俳句部門	川柳部門	狂俳部門	詩部門	部門
足立絹子	○	寺澤澄男	山本範子	清水義晴	部長
真清短歌会	一宮市民俳句教室	一宮川柳社	一宮狂俳壇連盟	一宮現代詩協会	氏名
					団体名

美術部												部		
日本画部門	洋画部門	デザイン・工芸・彫塑部門	書部門	写真部門	邦楽部門	謡曲部門	吟剣詩舞部門	声楽・合唱部門	器楽部門	吹奏楽・管弦楽部門	舞踊部門	芸能部門	社会文化部	部門
高橋弘子	○	三輪修	村上史麗	夫馬勲	脇田美登里	林昭	高間加代子	柴山友佳	岩田法智華	今川卓一郎	花柳こま希久	木全修	脇田まつ子	部長
一宮美術作家協会 / 日本画部	一宮美術作家協会 / 洋画部	一宮美術作家協会 / デザイン・工芸部・彫塑部	公益社団法人中部日本書道会 / 一宮支部	一宮写真協会	一宮三曲協会	一宮謡曲同好会	濃尾岳風会 / 一宮支部	一宮音楽家協会	特定非営利活動法人 旭雅楽会	一宮シティ合奏団	一宮舞踊協会	一宮民俗芸能連盟	一宮華道連盟	氏名
														団体名

(敬称略)

部	部門	団体名	主な活動日時・場所	
			活動内容	
美術部	洋画部門	ブルシャンプルー	毎月第1・3木曜日：午前9時～	朝日公民館
			絵画を楽しみ、人と人との交流を大切に、年間の成果を発表する作品展を目標に活動しています。	
		土筆の会	毎月第1・3火曜日：午前9時30分～	一宮スポーツ文化センター
			愛好者により、水彩油絵パステル画を学んで、地域の人との交流をして、成果を作品展にて発表します。	
		びくーるアートサークル	毎月第2・3・4月曜日：午前9時30分～	千秋公民館
			初心者からベテランの方まで、楽しく水彩画を学んでいます。スケッチ旅行にも皆で出かけます。	
		グループ創	毎月土曜日3回（変則）：午前9時30分～	一宮スポーツ文化センター
			講師の指導のもと、各自自由課題で楽しんでいます。	
	アクアの会	毎月第1・3火・水曜日：午後1時～	三条公民館(尾西生涯学習センター)	
		第2・4火曜日：午後1時～	神山公民館	
		風景を中心に四季の移ろいを感じながら、透明水彩画を学びます。年1回展覧会を開催します。		
	みづ系会	毎月第2・4火曜日：午後1時30分～	一宮スポーツ文化センター	
		先生の指導のもと、各自が好きなテーマで、水彩画を楽しんでいます。一緒にやりませんか。		
	IBK美術作家	事務局へお問い合わせください。		
	絵画の発表を通して美術文化の発展に協力します。			
私の風景	事務局へお問い合わせください。			
	年に一回の展示会に向けて水彩・油彩・日本画などの制作を行います。			
デザイン・工芸・彫塑部門	一宮美術作家協会/デザイン・工芸部・彫塑部	事務局へお問い合わせください。		
		市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。		
	陶順会	毎週火・土曜日：午前9時～	朝日西つどいの里陶芸室棟	
		陶芸を通じて文化の振興に寄与し技術の向上に努めるとともに、会員相互の親睦を図っています。		
	尾張もめん伝承会	毎月第4日曜日：午前10時～	一宮市市民活動支援センター	
		尾州織物の原点となる綿から糸を紡ぎ染め織るという手仕事を伝承し、作品を発表しています。		
一面会	毎月第2・4土曜日：午前9時～			
	アイブラザー宮			
	工芸「面打ち」教室に集う会員相互の親睦を深め、技術の向上を図ることを目的とします。			
書部門	公益社団法人 中部日本書道会一宮支部	事務局へお問い合わせください。		
		『書』を通じて「地域文化の発展向上」と「心の豊かさ」をめざすと共に、青少年の育成にも尽力してまいります。		
	書道研究麗筆会	事務局へお問い合わせください。		
	書を通して文化の発展向上、豊かな心と美意識を具備する青少年の育成をめざし研鑽しています。			
写真部門	一宮写真協会	事務局へお問い合わせください。		
		写真を通して会員相互の親睦を深め、写真技術の向上と豊かな人生の糧となるように努めています。(写団尾張、中日真澄クラブ、フォート・あい、写友ひまわり、翔の会・一宮)		
音楽部	邦楽部門	一宮三曲協会	事務局へお問い合わせください。	
			三曲協会は絃方9社中尺八5社中で構成され、合同で定期演奏会を毎年11月23日に開催しています。(松ヶ枝会、箏荳会、箏富貴会、筑紫加豊会、千早会、統山会、遥音会、慶山会、竹茂会、三山会)	
		里音会	毎月第2・4土曜日：午後6時～	三條錬成館
	箏・三絃・十七絃を練習し、演奏会が近くなると尺八とも合奏しながら楽しく励んでいます。			

加入団体一覧				
部	部門	団体名	主な活動日時・場所	
			活動内容	
文学部	短歌部門	真清短歌会	毎月第2日曜日：午後1時～	一宮スポーツ文化センター
			毎月の短歌教室と年3回の短歌大会、年4回同人誌(蒼原)を発行し、楽しんでいます。	
	俳句部門	一宮市民俳句教室	毎月第3日曜日：午後1時～	一宮スポーツ文化センター
			初心者も交え俳句会を開き、年に一度秋の吟行会に参加しています。	
		北方俳句会	毎月第1水曜日：午後1時～	北方公民館
			自然に親しみ、心豊かに生きている喜びを詠っています。	
		本町俳句会	毎週金曜日：午後1時～	大志公民館
			四季の移ろいに自分の思いも入れ句に詠むことは心を豊かにします。	
		ききょうの会	毎月第1・3水曜日：午後1時～	大志公民館
			四季の自然や生活の中で気付いた事を五七五にまとめて句会を致しております。お気軽にどうぞ。	
	千秋俳句クラブ	毎月第1木曜日：午後1時～	千秋公民館	
		当季雑詠6句を持ち寄り講師に指導いただき、11月には千秋文化展に出展し頑張っています。		
	びさい南俳句会	毎月第1金曜日：午後1時～	三条つどいの里	
		当日は俳句会をします。会の終わりに講師の講評があり、折々の吟行会に参加します。		
尾西仏手柑俳句会	毎月第2日曜日：午後2時～	応蓮寺		
	大徳公民館でも活動しています。第4日曜日午後2時から3時30分まで。ご参加お待ちしております。			
川柳部門	一宮川柳社	毎月第4日曜日：午後1時～	一宮スポーツ文化センター	
	句会と川柳教室ならびに柳誌の発行により、文芸としての川柳を楽しみ、普及をはかっています。			
狂俳部門	一宮狂俳壇連盟	毎月第2土曜日：午後1時～	葉栗公民館	
	一宮市に残る庶民文芸を伝承し、地域文化として普及するよう、言葉遊びを楽しんでいます。			
詩部門	一宮現代詩協会	事務局へお問い合わせください。		
		詩が好きな仲間が集まりました。詩心がある方はもちろん、始めてみたい方、どなたでも大歓迎です。		
一宮漢詩瀟聲會	毎月第1火曜日：午前10時～			
	中央図書館			
	自作の漢詩を各自持ち寄り、互いに読み合っ、より良い作品へ仕上げる添削等を検討します。			
美術部	日本画部門	一宮美術作家協会/日本画部	事務局へお問い合わせください。	
			市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。	
		美朋会	毎月第2火曜日：午後2時～	一宮スポーツ文化センター
	水墨画、日本画、水彩画等の展覧会を年1回とスケッチ旅行を年2回開催しています。			
	洋画部門	一宮美術作家協会/洋画部	事務局へお問い合わせください。	
			市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。	
尾西作家協会		事務局へお問い合わせください。		
	絵画や工芸作品の発表を通して美術文化の発展に協力します。チャリティー展を開催します。			
楽しく描こう会	毎月第1・3水曜日：午前9時～			
	三条公民館(尾西生涯学習センター)			
	本会も歩み始めて24年目。熱心な講師の指導、個性溢れる仲間の作品から刺激を受け合い前向きに頑張っています。			

(2026年5月現在)

部	部門	団体名	主な活動日時・場所	
			活動内容	
音楽部	吹奏楽・管弦楽部門	一宮市民吹奏楽団	毎週土曜日：午後5時～ 一宮スポーツ文化センター 市民の皆様が親しまれる楽団を目指し、日々、練習や演奏活動に取り組んでいます。	
		尾西ウィンドオーケストラ	毎週日曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター 音楽を楽しみ、人との繋がりを深め、希望と夢のあふれるまちづくりに貢献し、人生に潤いを！	
		一宮シティ合奏団	月2回 土曜日：午後5時30分～ 日曜日：午後1時15分～ 一宮スポーツ文化センター・木曾川文化会館 リハーサルにより合奏能力を高め、年1回11月に尾西市民会館にて定期演奏会を行います。	
		ファミリーアンサンブル おとのは	毎週水曜日、土・日（月2回）：午前9時～ 木曾川体育館 子育て中のお母さんたちが中心になって活動しています。 音楽を通して子どもたちに楽しい！の記憶を♪	
		一宮ウィンドアンサンブル	毎週日曜日：午後5時～ 一宮スポーツ文化センター 音楽の楽しさを伝えられるよう、演奏会に向けて週一回練習しています。	
芸能部	舞踊部門	一宮舞踊協会	越智バレエ団 KSP STUDIO（日・火曜日） 佐々バレエ団 本部（月・火・水・金・土曜日） 糸尾バレエ団 下沼町（日～土曜日） 日舞吉利枝会 一宮スポーツ文化センター（日曜日） 日舞こま希久会 中町2（日・月・金曜日） プチジェルム(バレエ) 大和町馬引宮裏（火・木・金・土） 幼児から大人まで、クラシックバレエ、日舞の古典を楽しく稽古しています。	
		新舞踊あすか会	事務局へお問い合わせください。 歌謡曲や古典舞踊、民謡の曲にあわせ日々稽古に励み、秋の尾西芸能祭に向けて頑張っています。	
		坂東流百の会	毎月第1・2（又は3）木曜日：午前9時～ 尾西文化広場または講師宅 H27年に10周年記念発表会。自分の踊りを仕上げる喜び、苦しみ仲間と共に。芸能祭を目指します。	
	芸能部門	一宮民俗芸能連盟	事務局へお問い合わせください。 現在9団体加入しており、長い歴史に培われた郷土の民俗芸能を保護するため奮闘しています。 (石刀祭山車保存会、真清伶人会、宮後住吉踊保存会、島文楽保存会、機織唄保存会、馬場獅子屋形打囃子保存会、瀬部山車・臼台祭保存会、黒岩祇園祭保存会、北方ばしょう踊保存会)	
		同派会	事務局へお問い合わせください。 7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。	
社文化部	茶道・華道部門	弥生会	事務局へお問い合わせください。 7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。	
		茶道表千家	事務局へお問い合わせください。 7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。	
		茶道裏千家	事務局へお問い合わせください。 7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。	
		一宮華道連盟	事務局へお問い合わせください。 華道展を開催する事によって、文化の発展の向上をより多くの方々に伝えて携わっていただきたいです。	
		一宮華道連盟	事務局へお問い合わせください。 華道展を開催する事によって、文化の発展の向上をより多くの方々に伝えて携わっていただきたいです。	

部	部門	団体名	主な活動日時・場所	
			活動内容	
音楽部	邦楽部門	すみれ箏の会	月4回 講師宅 箏のおけいこを通じて、音楽の知識を学び感性を養います。年に数回演奏会に出演。生徒募集中です。	
		美友会	(随時) 講師宅 邦楽を愛する仲間が活動する会です。楽しく箏曲を演奏しております。	
		藤乃会	(随時) 講師宅 古曲から新曲、あらゆるジャンルの曲を箏で合奏しています。新しい方との出会いをお待ちしています。	
		一宮三味線川崎会	毎週金曜日：午前9時30分～ 講師宅 民謡三味線を弾き、日本音楽文化を楽しもう。	
		脇田会	(随時) 講師宅 箏や三絃や十七絃と尺八や洋楽とコラボ演奏し、演奏会やイベントに楽しく演奏出演しています。	
	謡曲部門	一宮謡曲同好会	事務局へお問い合わせください。 現在7団体で年2回の発表会に向け、それぞれの団体ごとに稽古しています。 (梅謡会、相生会、竹石会、蘇水会、萩謡会、緑風会、丹謡会)	
		濃尾岳風会一宮支部	市内4教場で活動しています。詳しくは事務局へお問合せください。 年間行事として年2回の発表会(一吟会1月と6月)を通じて各教場の交流を含め練習成果の研鑽。	
		吟道関心流愛知県本部真和支部	事務局へお問い合わせください。 年に4回の発表会と県大会や全国大会のコンクール(競吟)を行っています。	
	吟剣詩舞部門	神道一刀流吟剣詩舞会	事務局へお問い合わせください。 勇壮な剣舞、艶やかな詩舞の伝統芸能により歴史を学び、舞台や慰問等を楽しんでいます。	
		曾山流樹徳吟詠会 山壁会	毎週月・火・水・金曜日 山壁会教室、開明公民館 他 吟詠を通じ、優れた詩人の心情・思想にふれ共感し仲間との絆を深めています。又発声により健康の保持に努めています。	
		一宮音楽家協会	事務局へお問い合わせください。 日頃は個人で研鑽している。サロンコンサート(5月中旬) 定期演奏会(10月下旬～11月上旬) 開催。	
	声楽・合唱部門	一宮合唱協会	事務局へお問い合わせください。 コーラスを通じ歌いたい心のうたを皆様にお届けできたらと取り組んで練習を重ねています。 (一宮マザーズ・エコー、女声合唱団コール・フリーデ、コーラスたんぽぽ、北方コーラス歌音、一宮合唱団くさぶえ、ミモザコーラス、コーラス沙羅、尾西混声合唱団、男声カルテットG5、ローザ・ロッサ)	
		一宮第九をうたう会	毎週火曜日：午後6時30分～ 尾西生涯学習センターまたは一宮スポーツ文化センター 「第九」をはじめ様々な曲に取り組み、会員の親睦を図ると共に地域文化の向上に寄与する。	
		琴伝流大正琴琴稀会	月4回 金曜日：午後1時～、土曜日：午後1時～ 尾西ふれあい広場 懐かしい童謡や流行歌など大正琴の音色を楽しみながら、芸能祭出演に向けて練習に励んでいます。	
		琴城流大正琴琴幸会	月2回 土曜日：尾西生涯学習センター、月2回 金曜日：小信中島公民館 日本の言葉を大切に長く歌い継がれる曲に心を癒され、行事を励みに合奏を楽しんでいます。	
安美&コンプリオ		事務局へお問い合わせください。 12月にはクリスマスコンサートでいろいろなジャンルの曲をいろいろな楽器で演奏します。		
器楽部門	特定非営利活動法人旭雅楽会	毎週日曜日：午後6時～ 尾張猿田彦神社 一宮市をはじめ、東海三県で世界最古の音楽「雅楽」の演奏活動をしています。		

文化情報



「ジャンプ」 山内 敏且

加入団体の催し

参加料▼月3,000円
申込み▼当日直接会場

【市民短歌教室】

【問合せ先 真清短歌会】
☎(85)7074

日時▼6月14日(日)・8月16日(日)
9月13日(日)・10月11日(日)
12月13日(日) 午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター
内容▼真清短歌会委員が実作指導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料
申込み▼当日直接会場

【第19回記念 プルシアンブルー絵画展】

【問合せ先 プルシアンブルー】
☎090(2619)8010

日時▼7月1日(水)～5日(日)
午前10時～午後4時
(5日は午後3時まで)

会場▼玉堂記念木曾川図書館
内容▼講師の大島麻琴先生の指導のもと、美術愛好家15名による風景画など水彩画を中心に展示します。

入場料▼無料

【瀧聲會作詩教室】

【問合せ先 一宮漢詩瀧聲會】
☎(78)7953

日時▼7月7日(火)・9月1日(火)
10月6日(火)・11月3日(火)
12月1日(火) 午前10時～

会場▼中央図書館
内容▼漢詩文の作り方の指導をはじめ、持ち寄った創作詩の添削の検討を会員間で行います。(初心者歓迎)

参加料▼年3,000円
申込み▼当日直接会場

【七夕まつり 狂俳大会】

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】
☎(78)5002

日時▼7月11日(日) 午後1時～

【狂俳月例会】

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】
☎(78)5002

日時▼6月13日(日)・8月8日(日)
9月12日(日)・10月10日(日)
11月14日(日)・12月12日(日)
午後1時～

会場▼葉栗公民館
内容▼各自10句持参、互選により優秀作を記録に残します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

【能・狂言面の制作】

【問合せ先 一面会】
☎(71)2716

日時▼6月13日(日)・27日(日)
7月11日(日)・25日(日)
8月8日(日)・22日(日)
9月12日(日)・26日(日)
10月10日(日)・24日(日)
11月7日(日)・21日(日)
12月12日(日)・26日(日)
午前9時30分～正午

会場▼アイプラザ一宮(11月まで)・12月は尾西グリーンプラザの予定
内容▼実地指導します。(初心者歓迎)

愛知県文化協会連合会

『原文連50周年 文芸誌』の発刊

愛知県文化協会連合会の50周年を記念し、県下各市町村の文化協会より短歌、俳句、川柳、詩など97名の投稿を掲載した『文芸誌』が発刊されました。ご覧になりたい方は、愛知県文化協会連合会ウェブページからご覧いただけます。



会場▼葉栗公民館
内容▼事前投句の兼題句の中から互選により優秀作を表彰します。
参加料▼500円

【写真100人展】

【問合せ先 一宮写真協会】
☎(76)3523

日時▼7月16日(休)～19日(日)
午前10時～午後5時
(19日は午後4時まで)

会場▼一宮スポーツ文化センター
内容▼一宮写真協会とその写真の日の頃の思いを入れた写真を展示します。
入場料▼無料

『おりもの感謝祭一宮七夕まつり 第53回学生書道展・第32回選抜作品展』

【問合せ先 一宮書道連盟】
☎090(4265)6098

日時▼7月18日(日) 午後1時～4時
19日(日) 午前10時～午後4時
会場▼一宮スポーツ文化センター
内容▼上位入賞作品、役員と指導者作品を展示します。

入場料▼無料

【七夕まつり 短歌大会】

【問合せ先 真清短歌会】
☎(85)7074

日時▼7月19日(日) 午後1時～
会場▼一宮スポーツ文化センター
内容▼参加者による互選、批評会を行います。

参加料▼500円

【市民俳句教室】

【問合せ先 一宮市民俳句教室】
☎(73)0282

日時▼7月19日(日)・8月16日(日)
9月20日(日)・10月25日(日)
11月15日(日)・12月20日(日)
午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター
内容▼当季雑詠2句を一宮市民俳句教室委員が指導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料
申込み▼開催日の前月末(必着)までにハガキにて、参加希望日・当季雑詠2句(初参加の方は希望者のみ)・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・参加経験の有無を記入の上、送付

(〒491-8501 本庁舎生涯学習課)

【納涼茶会】

【問合せ先 一宮茶道連盟】
☎090(2346)0313

日時▼7月25日(日)・26日(日)
午前10時～午後3時
会場▼一宮スポーツ文化センター
呈茶券▼700円(前売券 600円)

【一宮市民バンド七夕まつり2026】

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】
☎080(5102)8611

日時▼7月26日(日)
※時間については未定

会場▼一宮スポーツ文化センター
内容▼「二宮市民吹奏楽団」・「尾西ウィンドオーケストラ」・「ファミリーアンサンブルおとのは」・「二宮ウィンドアンサンブル」ほか、市内の団体・中学生が合同で演奏会を行います。
入場料▼無料

【黒岩祇園祭保存会 黒岩祇園祭】

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】
☎(85)7074

日時▼8月1日(日) 午後6時30分～
会場▼石刀神社(浅井町黒岩)
内容▼山車に550個の提灯を飾りつけ、お囃子と共に引き回します。

【島文楽保存会 虫干し】

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】
☎(85)7074

日時▼8月2日(日) 午前10時～
会場▼島村公民館(島村字石畑)
内容▼市指定有形民俗文化財の文楽人形の虫干しをします。人形の実演もあり。

【瀬部山車・白台祭保存会白台祭】

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】
☎(85)7074

日時▼8月15日(日)
午後6時～9時(予定)
会場▼八剣社(瀬部字大門)
内容▼山車の上に提灯をかがけ回転させながら、笛や太鼓のお囃子に合わせて境内を練り歩きます。

この「いちのみやの芸術文化」は、今年度の編集委員7名により編集されています。

【編集委員】※敬称略

- ・浅井 英仁 ・木全 修
- ・小島 祥子 ・田中 石雲
- ・林 節子 ・光崎 賢治
- ・安江たつよ

いちのみや 民俗芸能のつとめ

日時 8月23日(日) 正午～
会場 尾西市民会館

【出演予定団体】

石刀祭山車保存会、瀬部山車・臼台祭保存会、
島音楽保存会、真清伶人会、宮後住吉踊保存会、
機織唄保存会、北方ばしょう踊保存会



一宮民俗芸能連盟の加盟団体が市内各地に伝わる民俗芸能を上演します。※機織唄保存会

『いちのみや文芸2026』作品募集

市民の皆さまから文芸作品を募集します。お寄せいただいた作品を文芸集にします。ぜひご応募ください。

1. 募集種目 ※1人3種目以内①随想・随筆②現代詩③漢詩④短歌⑤俳句⑥川柳⑦狂俳
2. 応募資格 市内在住・在勤・在学または一宮市芸術文化協会加入団体に所属している方
3. 応募方法・締め切り 【郵送】〒491-8501(住所不要)一宮市芸術文化協会『いちのみや文芸』係(市生涯学習課)まで送付。6月26日(金)必着
【市ウェブサイト】[ID1074989]を確認の上、6月28日(日)23:59までに、作品データを送信。



合唱講習会

初心者向けに、正しい発声で楽しく合唱の基本から学びます。みんなで一緒に歌い、合唱を楽しみましょう♪

日時 8月20日～10月15日の木曜日(9月24日を除く)
午後1時50分～3時50分

会場 木曾川文化会館

講師 小島祥子さん(伴奏:大前和代さん)

定員 40名

受講料 2,500円(一宮合唱祭(10月18日(日)開催)の参加料500円を含む)

申込み 6月下旬に一宮市ウェブサイト
[ID1074668]などで案内します。



秋の 市民美術教室の お知らせ

対象 市内在住・在勤・在学の方
会場 一宮スポーツ文化センター

7月下旬に、一宮市公式ウェブサイト
[ID1069286]などで各教室の詳細や
申し込み方法をお知らせします。



染色「初めての型染」

日時・会場 9月29日～10月20日の火曜日
午後2時～4時(4回)

内容 型染の技法で日本手ぬぐいを染める初心者向けの教室です。

講師 林 節子さん
(一宮美術作家協会・中部染色作家協会)

定員 12名(抽選、過去3年で参加していない方優先)

受講料 3,500円(教材費含む)

初心者からの版画とガラス絵

日時 9月8日～10月20日の火曜日
午後6時30分～8時30分(6回) ※9月22日を除く

内容 版画とガラス絵を初歩から楽しく学びます。

講師 堀尾 一郎さん
(一宮美術作家協会、二科会会員)

定員 20名(抽選、過去3年で参加していない方優先)

受講料 3,500円(教材費を含む)

気軽に楽しく水彩画

日時 10月1日～11月5日の木曜日
午後2時～4時(6回)

内容 身近な題材を使って水彩画の基本的な技法を学ぶ、初心者向けの教室です。

講師 井上 雅夫さん
(一宮美術作家協会、日本美術家連盟会員)

定員 24名(抽選、過去3年で参加していない方優先)

受講料 3,900円(教材費を含む)

[題 字] 武 山 翠 屋
[編集・発行] 一宮市芸術文化協会

[連絡先] 一宮市芸術文化協会事務局(市教育部生涯学習課内)
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号
TEL 0586-85-7074